

コネクティッドホーム アライアンスのビジョン

1. 我が国の目指す Society5.0

我が国では、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会「Society5.0」を目指している。Society5.0 で実現する社会は、IoT で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有されるとともに、人工知能(AI)により、必要な情報が必要な時に提供されるようになる。その結果、社会のイノベーションを通じて経済発展と社会的課題の解決を両立し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重しあえる社会、一人一人が快適で活躍できる社会の実現を目指している。

2. Society5.0 実現に向けた動きの加速

この Society5.0 実現に向けた動きが、各省庁、業界団体、各企業など社会全体で現在加速している。コネクティッドホーム アライアンス(以下「CHA」と協業関係にある「一般社団法人 電子情報技術産業協会(以下「JEITA」)においても、従来の IT やエレクトロニクス産業を中心とした企業だけでなく、「Society5.0 の実現」=「共創時代の到来」に合わせ、業種・業界を超えたあらゆる企業が集い、Society5.0 実現を目指している(直近では、トヨタ自動車、JTB、LIXIL、TOTO、セコムなどの企業が正会員として参画)。

“暮らしの IoT”分野においても、JEITA では 2017 年夏に「スマートホーム部会」が設立されており、CHA も客員として参画し、経済産業省と連携しながら Society5.0 実現に向けて推進している。2019 年度には「Society5.0 将来ビジョン検討会」にも CHA が協力し、市来理事長、野城特別顧問、松井デザインディレクターが、Society5.0 時代のスマートホームのあるべき姿を共にまとめている。

3. ビジョンを改めて策定する意義

CHA は、2017 年 7 月に設立され同年秋に実質的な活動を開始している。この間、IoT や AI といった技術は進展し、上記の通り Society5.0 実現に向けた動きも加速している。また地球全体の急速な環境の変化や高齢化等による社会変化も顕在化する中、新型コロナウイルス感染症対策によって生活様式も変化せざるを得ない状況下で、人々が安心して安全かつ快適な住環境で心豊かな人生をプロデュースするために、CHA 会員企業が一致団結して向かうべき方向を共有する必要があると考え、改めてビジョンとして策定する。

4. CHA の目指すべき方向性とビジョン

実現したい社会は、新たに作る街や都市においてではなく、既存の家(街)が我々の知恵と工夫で「こんな家(街)があったら暮らしたいな」という家(街)となり、そこに暮らしている人びとの人生が心身ともに健康で自然と豊かになるという物心両面の幸せを創造し、心豊かな暮らしができるような社会である。中心テーマは「人」と「家」である。

整理すると、CHA のビジョンは以下の通りである。

Connected Home で Wellness & Prosperous Life ～つながることで、心身ともに健康で、心豊かな暮らしの実現を～

※Wellness とは、単に身体が健康ということだけでなく、輝くように生き生きしている状態で豊かな人生をデザインしていくというライフスタイルデザインである

Connected Home が Wellness Home となり、Prosperous Life を実現する。そのために CHA は、業界や企業の垣根を超え、
『日本の輝く未来のため、我々の子供たちや孫たちが幸せで充実した人生を送れるよう、Japan オリジナルな素晴らしい住生活環境を創造し、提案し、実現すること』
を目指して活動する。

5. 目指すべきビジョンを実現するために

「人」については、幼少期から青年期、壮年期、老年期どのステージにおいても、明るく楽しい思いの人生を充実した形でエンジョイできるように、インフラやサービスのためのしくみやしかけを提供する。

「家」については、家ナカにとどまらず、家と家がつながり、家と会社/学校/病院/ショッピングセンター/宅配サービスなどが有機的につながることで、人びとの真の幸せの実現を追及する。

これらの実現には各種先進技術の利用は必須であるが、IoT ありきではなく、地域社会で暮らす人びとはいったい何を望んでいるのか、何ができればうれしいのかといったように、発想の着眼点を生活者視点に置く。

各年齢ステージの違いはあるが、実現した社会は、老若男女がごく自然体で意識せずストレスフリーでそれらの技術を使うことができることが望ましい。その恩恵は、誰もが平等に享受できるようにならなくては社会貢献を果たしたことにはならない。

我々の目指す社会は、「心の Japan Quality*」を持ち合わせたものになりたい。

※【Mentality】、【Hospitality】、【Harmony】

そして何より、各企業が単独で何ができるかではなく、CHA 参加企業が、相互支援・理解・協力のもとで成果を追及し市場へアウトプットを提供することで、CHA として社会に貢献し、CHA 会員各社の健全な発展と成長につながるものと考える。

以上